



岡 津



学校だより 5月号
令和4年4月28日
横浜市立岡津小学校
校長 下畝 直人
TEL 811-4104
FAX 812-4586

「つなぐ 自らの成長を自覚し、適切に行動できる岡津っ子」



<http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/okazu/>

感心しています。岡津っ子のよいところ！

校長 下畝 直人

4月22日（金）の授業参観、懇談会には多数の保護者の皆様にご来校いただき、心より感謝申し上げます。ありがとうございました。新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため参観人数を制限させていただきましたが、ご理解とご協力をいただきましたことも重ねてお礼申し上げます。岡津小学校に着任してもうすぐ1か月が経ちますが、子どもたちのよさを日々発見しています。

◇あいさつ

朝、正門、三嶋門に立って子どもたちの登校を迎えていると「おはようございます。」の元気なあいさつが子どもたちから返ってきます。これまで勤務してきた学校もあいさつに力を入れてきましたが、岡津の子どもたちのあいさつは2つの点で優れています。1点目は、ほとんどの子が私の目を見てあいさつしてくれることです。下を見ながらあいさつしたり、別の方向に目を向けてあいさつしたりする子はほとんどいません。とても素敵な岡津の子どもたちのよさです。2点目は高学年の子どもたちが進んであいさつしてくれることです。多くの学校で学年が上がるにつれてあいさつがなくなるという課題を抱えていますが、岡津の子どもたちは高学年がしっかりとあいさつしてくれます。その姿が下級生に良き伝統として受け継がれています。世界中どこでも、他者と関わりをもつための最初の行為はあいさつです。子どもたちの他者意識が育っていることに感心しています。これも毎日登下校の見守りをしてくださっている保護者の皆様のお陰です。ありがとうございます。

◇話の聞き方・・・そして、素直さ

「目と耳と心で聞く」という話を入学式や朝会で子どもたちに話しました。4月は学年開き集会など学年の子どもたちが集まって話を聞く機会がありました。私も参加しましたが、良い姿勢で話を聞こうとする子どもたちの姿がたくさん見られました。教室を回ると、姿勢が崩れている子どもの姿を見かけることもあります。しかしその子たちも私と目が合うとすぐに姿勢を直します。そのような素直さを微笑ましく感じています。

◇揃ったランドセル・靴箱・上履き

学年集会で4年生が体育館に集まった時のことです。最初に集まったクラスの子どもたちが体育館の壁沿いにランドセルを置きました。次に来たクラスの子どもたちがその横にランドセルを置いていきます。先生は一言も声をかけないのに、ランドセルがきれいに揃えられて置かれていきます。一人もランドセルを乱暴に置いたり勝手な場所に置いたりしません。ランドセルが美しく置かれていく姿を見ながら、私は感心しました。同様のことが子どもたちの靴箱にも言えます。みんなきちんと靴を入れてあります。下に落ちている靴を見ることはほとんどありません。1年生を迎える会で司会を務めた6年生が放送室に入る際、上履きを脱いで、くるりと上履きの向きを変えたときには思わず「素晴らしい！」と声をかけていました。

これまで書いてきたことは“当たり前なこと”と思われるかもしれませんが、学校によってはあいさつをしても返ってこなかったり、ランドセルや靴が乱暴に置かれていたりする子どもたちの姿があるのも残念ながら事実です。「当たり前なことを当たり前にする。」岡津の子どもたちはとても素敵だと思います。

新型コロナウイルス感染症の感染状況はまだ油断できる状況ではありません。保護者の皆様、地域の皆様には、引き続き感染症の予防と教育活動へのご理解とご協力をよろしく願いいたします。

